

(対象事業：先進的な展示・教育普及手法の開発等の事業)

事業名：特別展「吉備の渡来文化
― 渡り来た人々と文化 ―

事業者名：岡山県立博物館

連携事業館名：なし



岡山県立博物館 外観

住 所：岡山県岡山市後樂園 1 番 5 号

TEL：086-272-1149

FAX：086-272-1150

HPアドレス：<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>

①施設概要

岡山県の中核的な博物館として、昭和46年(1971)に開館。岡山県の歴史と文化を物語る考古・文書・美術・民俗・刀剣・備前焼など各分野の資料を収蔵・展示している。また、公開承認施設に認定されている。

②事業の意図目的

岡山県はかつて吉備国と呼ばれ、優れた文化が華開いた。この理由の一つとして、中国大陆や朝鮮半島の進んだ文化を積極的に受け入れたためであることが、近年の考古学研究により明らかになりつつある。この特別展では、吉備の渡来文化を物語る考古資料を集成展示し、その実像を紹介する。あわせて、展示と連動した各種事業を実施し、歴史への興味や国際理解を深めてもらう。

③事業概要

- 1) 吉備における渡来文物の集成展示
吉備の渡来文化を物語る考古資料を集成展示し、その実像を紹介した。
- 2) 唐子踊(岡山県指定重要無形民俗文化財)の公演
渡来文化との関わりが深い民俗芸能、唐子踊の公演を行った。
- 3) 記念講演会
渡来文化について造詣の深い外部講師による講演会を行った。
- 4) こども歴史探検隊
小学5年生～中学生を対象にした体験事業。朝鮮半島の技術でつくられた吉備の古代山城鬼ノ城を学芸員の案内で現地見学し、あわせて博物館での展示を見学して吉備の渡来文化について学んでもらった。
- 5) 展示解説
担当学芸員による展示品の解説を行った。

④事業の製作物及び報告書等

- ・チラシ、ポスター、チケット
- ・出品目録(日本語版・韓国語版・中国語版)
- ・見どころガイド(日本語版・韓国語版・中国語版)
- ・展示図録

⑤参加者状況

参加者(入館者)人数 延べ4,185人

(1) 事業の実施状況について

1) 吉備の渡来文物の集成展示（平成18年2月3日～3月5日）

吉備地域におけるさまざまな渡来文物や、渡来文化の影響を受けてつくられた品々を一堂に展示し、吉備の渡来文化の実像を紹介した。展示内容は「交流の始まり－縄文～弥生時代－」、「高まる渡来文化の波－古墳時代－」、「東アジア世界への参画－飛鳥～奈良時代－」の3部構成で、岡山県内から出土した縄文時代後期～奈良時代の考古資料100件572点を集成展示した。この中には岡山県内初公開となる資料も多くあり、学術的にも大きな成果があった。総入館者数4,185名。



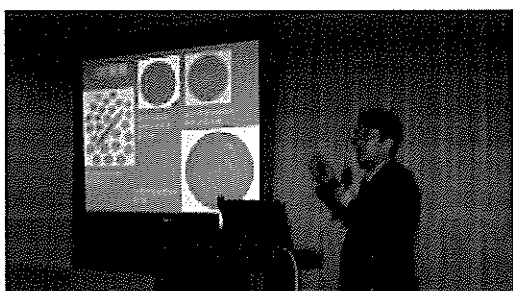
展示会場



展示会場

2) 記念講演会（平成18年2月12日）

渡来文化研究の第一人者である岡山理科大学教授 亀田修一氏による講演会を実施した。吉備の考古資料と朝鮮半島・中国大陆の考古資料との比較を通じて、吉備の渡来文化の特徴について説明していただいた。豊富な図と写真による分かりやすい説明で、参加者にも好評であった。参加者数213名。



亀田氏による講演



会場の様子

3) 唐子踊 公演 (平成18年2月19日)

江戸時代の朝鮮通信使が伝えたともいわれる唐子踊 (岡山県指定重要無形民俗文化財) の公演を行い、渡来文化と関わりが深い民俗芸能を紹介した。午前・午後の2回実施し、参加者数150名。



実施状況



実施状況

4) こども歴史探検隊 (平成18年2月26日)

小学5年生～中学生を対象にした体験事業。朝鮮半島の技術でつくられた吉備の古代山城 鬼ノ城を学芸員の案内で現地見学し、あわせて博物館での展示を見学して吉備の渡来文化について学んでもらった。参加者数30名。



実施状況



実施状況

5) 展示解説 (平成18年2月11日・2月25日)

担当学芸員による展示品の解説を行った。2回実施し、参加者数のべ72名。



実施状況



実施状況

(2) 地域との連携について

展示内容にあわせ、岡山県内の日韓・日中の親睦団体（岡山県日韓親善協会・岡山県日中懇話会・岡山市日中友好協会）に協力を依頼し、後援を受けた。これにより、岡山県内の留学生や在日外国人に博物館を利用してもらう機会を提供することができた。また、現代の国際交流にも資することができた。また、来館者の感想が地元新聞に掲載されるなど、地域住民の期待にも応えることができた。

(3) 成果物について

展覧会に合わせ、展示資料を掲載した図録（A4判64頁）を刊行した。また、入館者配付用として、「出品目録」（A3二つ折り）と、展示の見どころや代表的な展示品を紹介した「見どころガイド」（A3二つ折り）を作成した。これについては、岡山県国際交流員の協力により韓国語版・中国語版も作成し、希望者に配付した。



展示図録（表紙）

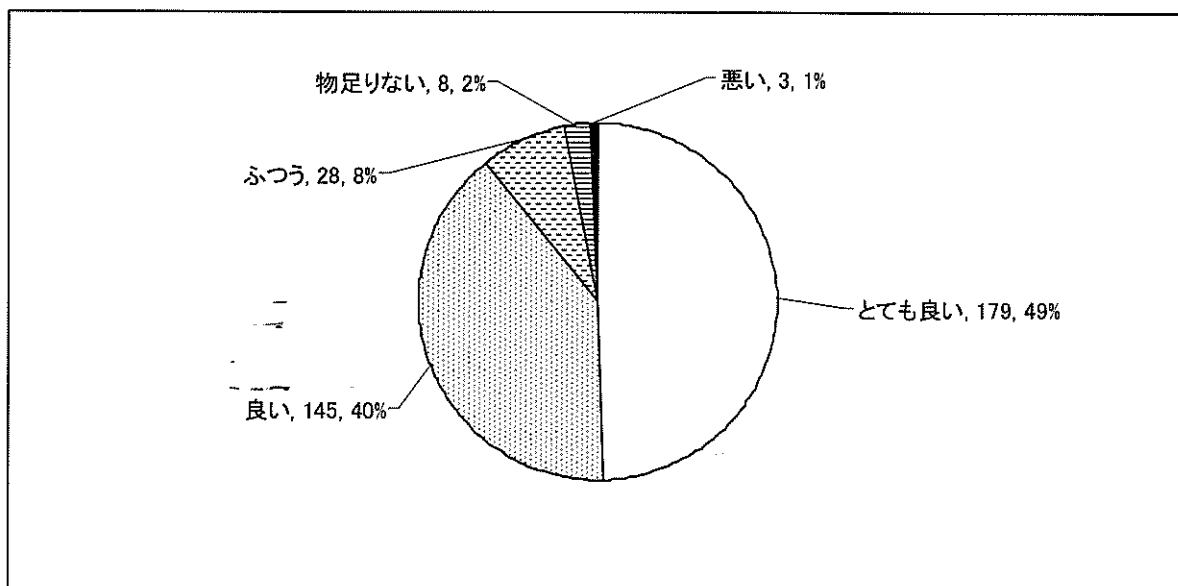
3か国語のパンフレット



「見どころガイド」（日本語版・韓国語版・中国語版）

(4) 参加者の反応

博物館来館者に展示のアンケート調査を実施した。このうち、展示内容については、「大変良い」と「よい」が全体の89%と高い評価を得た。また、各種関連事業についても、いずれも多数の参加者を得て盛況であった。



展示内容についてのアンケート調査結果（回答率11%）

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

吉備の渡来文化を通じて、古代の国際交流と古代吉備文化の特色を紹介することができ、現代の国際交流の進展にも寄与することができた。また、展示と連動した各種関連事業として、従来の講演会や展示解説に加え、民俗芸能（唐子踊）公演、史跡巡り（こども歴史探検隊）を実施したことより、見ること・知ること・感じることを通じた、より効果的で意義のある事業成果を挙げることができた。